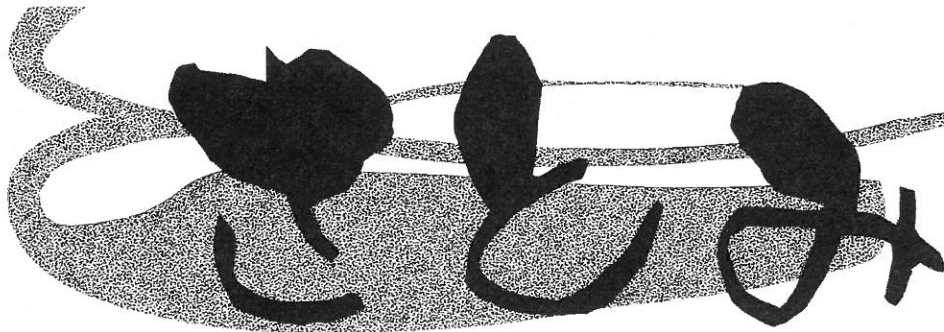




第3号

2006.10.1
発行

里塚・美しが丘地区町内会連合会

札幌市清田区里塚2条6丁目1-3
里塚ノースヴィレッジ2階
電話011-884-1210

新体制スタート

定例総会開かれる

里塚・美しが丘町内会連合会

去る4月23日、第10回の定例総会が開かれ、前年度の事業および決算報告、今年度の事業計画案と予算案など執行部提案の各項目について審議されました。

橋副会長の開会・総会成立宣言（定数94人・出席54人・委任状17人の合計71人）の後、加来会長挨拶に続き来賓の中野淑文清田



挨拶や質疑応答の中から

記憶しておきたい項目を列記します。

- 清田地区センターが来年4月着工される。
- 美しが丘に交番が年内にできる。
- 来年11月4日で清田区誕生10周年を迎える。
- 今冬2月22日～3月4日ノルディックスキー世界選手権札幌大会（白旗山他）が開催される。
- 簡易保険手数料収入が打ち切られる。
- 町連事務局へ職員が配置された。

平成18年度の主な事業

- 総会 (4月23日)
- 交通安全街頭啓発 (4・7・9・11月)
- 子どもを見守る会 (7月8日)
- パークゴルフ大会 (7月8日)
- 理事一日研修会 (7月14日)
- 清田区ふれあい区民祭り (7月22日)
- 清田地区壮年野球大会 (8月20日)
- 親子ごみサミット (7月31日)
- パソコン講習会 (8月～10月)
- 里美地区ゲーム&ウォーキング (9月17日)
- 大曲連町との交流会 (9月18日)
- 防火・防災講習会 (9月24日)
- 町連だより「さとみ」発行 (10月1日)
- 女性部1円玉募金運動 (11月)
- 里美町連応急手当講習会 (11月12日)
- 大なわとび大会 (11月)
- ひとり暮らしの友愛訪問 ふれあい弁当 (11月24日)
- ひとり暮らしの友愛訪問 ふれあいおはぎ弁当
(福祉のまち推進センター主催) (3月16日)

小さな一円玉のあたたかい善意

一円玉募金運動

里美町連 女性部

毎年11月になると「一円玉募金」のお知らせが各町内会に回覧されます。この運動は昭和53年度に当時の豊平区女性部連絡協議会がはじめたもので、平成9年に清田区として独立してからも運動を継続しています。

昨年の平成17年度は清田区で約117万円、里美地区ではおよそ40万円の募金があり、区内の社会福祉施設や小規模作業所など15団体に贈呈されました。今年も例年同様「一

先日、ご寄付を賜りありがとうございました。この清田区に活動の地を移して初めての新年を迎え、未だに軌道にのりきれず四苦八苦しているなかで頂いた暖かいご支援に、一同感謝の気持ちでいっぱいです。（中略）この度のご寄付をありがたく活用させて頂き、より円滑に、より快適に作業をこなせるようパソコンの新調を計画しております。（後略）

左記は小規模授産施設「北のスモーク」理事長中島倫久さんからお礼のお手紙です。

ニューフェイス

(敬称略)

■本年度新しく里塚・美しが丘地区町内会連合会の監事になられた方を紹介します。

藤山 義彦
(こもれび南ヶ丘町内会)



■本年度新しく町内会長さんになられた方を紹介します。

里塚団地自治会 星野 明洋
ライオン町内会 足立 進
里塚ライオン桂台町内会 鳴海 敏光
ファミル美しが丘町内会 菊池 雅人
美しが丘団地自治会 北原 耕平
こもれび南ヶ丘町内会 鈴木 一彦

市長表彰

9月15日、晴れて感謝状を受けたのは、美里町内会（竹野和夫会長）と美しが丘式番街自治会（小山内國行会長）です。

緑化行政の一環として街路樹の植樹ますへの花壇造成がすすめられておりますが、これに賛同、いち早く会員の協力で取り組まれました。造成後も花壇の手入れが行き届



区長表彰

8月4日、永年にわたる町内会・自治会等の役員として、地域振興活動、防犯・防災、環境衛生等の向上に尽くし、地域の発展に貢献された5名の方々に中野区長より感謝状が贈呈されました。今後とも里美地区の発展にご協力をお願いします。

那須 徳治
(里塚第一町内会)
佐藤 巖
(日の丸団地町内会)
木村 利法
(美里町内会)
加藤 守
(光ヶ丘町内会)
小野 勲彦
(美しが丘団地自治会)
(敬称略)

見学で学んだことを日常生活に生かしましょう

親子ごみサミット

里美町連 環境衛生部主催

7月31日に、里美地区町連環境衛生部が主催する「親子ごみサミット」が行われました。美しが丘小・美しが丘緑小・三里塚小・平岡南小の親子19名が、関係役員の案内で見学に参加しました。

午前中は篠路清掃工場を見学し、食食はふれあい農園や牧場がある「サッポロさとらんど」で楽しくいただきました。午後は「中沼プラスチック選別センター」と「中沼資源選別センター」を見学しました。

バス内では自己紹介や清掃事務所の方からごみ問題の説明やPRがされ、わたしたちが不用意に出すごみは、このような形で処理されることを考えると、今更ながら日常生活の分別作業の大切さを考えさせられました。見学で得た「知識」を「知恵」で活用しなければ無意味になってしまいます。

金もかからず子どもでも簡単にできる作業ですから、直ちに明日から実行したいものです。毎日の生活の中で出る「生ごみの水分を10%少なくする」とごみ収集車に今までより多く積み、焼却も効率的になり札幌市全体で約5億円の節約ができると言われていました。



より良いまちづくりを目指して

里美地区懇談会開催

清田区役所と里塚・美しが丘町内会連合会との懇談会が、6月21日区民センターで開かれまし

た。区長から「ふれあいプラン」「区誕生10周年」「ノルディックスキー世界選手権札幌大会」などの協力依頼と区役所の事業執行に理解を求められ

ました。区の事業は多岐にわたりますが、新規として5事業、重点として15事業を上げています。介護保険に

関係することや障害者自立支援、また、火災警報器の設置への周知、安全・安心まちづくりなどの事業です。

区長から「ふれあいプラン」「区誕生10周年」「ノルディックスキー世界選手権札幌大会」などの協力依頼と区役所の事業執行に理解を求められ

ました。区の事業は多岐にわたりますが、新規として5事業、重点として15事業を上げています。介護保険に

ナイスショット！

パークゴルフ大会開催

里美町連 体育部主催

第10回パークゴルフ大会が7月8日平岡公園パークゴルフ場で開催されました。当日の参加者は過去最高の159名（男性87名・女性72名）で、大正生まれの方が11名、最高年齢者は89歳の方でした。

今大会は男女ともハイスコアでの戦いとなり、順位も同点による年齢差で決定しました。



男性の部	氏名	スコア
優勝	林 鶴松	50
準優勝	松浦 義人	50
3位	北島 順一	50
女性の部	氏名	スコア
優勝	本永 きみ子	53
準優勝	尾崎 洋子	53
3位	高山 京子	55

(敬称略)

「福祉のまち推進センター（略称・福まち）」の活動をまだ知らない方がいると思いますのでお知らせします。

出不精にならないように

ひとり暮らしの交流会

福祉のまち推進センター

このセンターはお互いに支えあいふれあいに満ちた、安心して暮らせる福祉のまちを目指しています。70歳以上でひとり暮らしの方を対象に「安否確認」をしてあります。特に災害時の死亡者の大半が、ひとり暮らしの方が占めていると報道されていますので、今までより以上精力的にこの運動に取り組んでいきます。また、話し相手に恵ま



次世代に語り継ぐ記念誌の発行

日の丸団地町内会40周年

平成18年は日の丸団地町内会創立40年にあたります。そこで記念行事の一環として40年史を製作いたしました。皆様に「一読願えれば幸いです」。

『町内会創立四十年史発行にあたり』いま何故四十年史を出すのかと問われました。では何故今まで年史は無かったのか。五十年史・百年史の手掛かり足掛かりとして、諸先輩・長老の方々が健在であるうちに、資料の収集にあたり将来に引き継ぐことと思い企画制作しました。

町内会の目的は、和と親睦を図り住みよい地域の発展に在ります。地域を知って歴史を知って十年後の五十年史作成の参考資料となる事を祈願します。発行にあたり多くの方々のご協力を頂き有り難く厚く感謝申し上げます。

平成十八年九月吉日

日の丸団地町内会

会長 大田 利生

安全・安心のまちづくり

清田区地域防犯ネットワーク

第1回ワークショップ開催

「あなたはどのようなまちに住みたいですか?」と問われると、「安心して住める、安全なまち」と答える人が大多数でしょう。しかし、昨今まちの安全な環境が蝕まれているのが現状です。子どもが危険にさらされ、命を落とすまでの残念な結果に終わったという報道が頻りに見られます。

誰がどのように安全な環境を作る担い手になるのかを話し合うための、安全・安心まちづくり事業「清田区地域防犯ネットワーク会議」が活動を発見した110番へ

痛ましい事故・事件から守るために

町連後援で地区青少年育成委員会(山部会長)の「子どもを見守る会」が7月5日午後7時から開催されました。各町内会会長、町連役員、区役所担当者や関係団体役員、小・中学校校長、PTA会長が出席し、子どもたちを痛ましい事故・事件に合わせないよう、これからどのようにして守るのかについて講話と地域活動の取組みの報告がありました。

この報告などを参考にしながら、これが絶対という決め手がなく、行



にし区民一丸となった実効性のある活動を進めようと開かれたものです。防犯活動に取り組み町内会や団体、学校、企業などから40名が参加、6つのグループに分かれて、熱心に情報、意見交換を行いました。さらにグループの代表が討議の内容を発表しました。



次のような意見がありました。■子どもの安全確保のためには、町内会づくりと家庭づくりを目標に。■親の意識を高めていく必要を、もっと声高に訴えるべきだ。■子どもと大人が接触する機会をもっと増やして、顔見知りになつていくことが大事である。■学校が主体となつてもっとまわり情報発信をすべきである。■腕章・ワッペンをわかりやすく統一して、子どもに安心感を与えたい。■個人情報保護の問題で、不審者情報が伝わっていない。

えが大切です!

災害から身を守る

清田区防災訓練実施

「震度6強」の地震で家屋倒壊・火災発生を想定した清田区防災訓練が実施されました。今年度は、8月30日清田西公園と周辺街区を会場として、清田中央地区町連が中心になり近隣町内会や自治会、清田他4町連と行政・関係団体に札幌国際大学の学生、清田南小学校児童の皆さんが参加、総勢約600人が各項目に別れて行いました。午前9時過ぎ、会場に

白い煙がたふよい、さながら合戦の口け現場を思わせる緊迫感がありました。当、里美町連30余名も急激な水ハケツリを訓練しました。訓練の中にあつた人工呼吸とAED(自動体外式除細動器)の方法と取り扱いを必要とする機会、災害発生とは関係のない箇所でも遭遇します。当町連防犯部(木村利法部長)でも救急救命講習会の参加を呼びかけています。

心配された空模様も、参加者の熱気に押されてパラパラ程度。てんぷら油への引火の遅れにハラ



ハラしながらも無事消火。11時過ぎすべての訓練を終わり、中野淑文区長の講評で終了しました。

活躍するスクールガード

きずなは挨拶から

こもれびの街町内会

会長 山岸 静男

平岡公園小学校のスクールガードは平成17年11月から始めました。初日、子どもにも名前を尋ねたところ「教えない」と断られてから、「こんにちわ、町内会です。気を付けて帰りましょう。」を繰り返しました。始めて8ヶ月過ぎたところで『何こともなく良かった』と一息ついてい

たくさんの方たちが子どもを見守っています 子どもの安全を見守る運動

～みんなで守ろう子どもたち～



ステッカー



北海道コカ・コーポラ等
防犯連絡協議会



札幌歯科医師会



ポスター

道と民間とのタイアップ事業「子どもの安全を見守る運動」を採択した企業が増え、北道道コカ・コーラグループ、北海道電力、タクシー会社など、事業所と車両にこのポスターやステッカーを掲示して、運動を推進しています。

こども110番の家

「こども110番の家」は子どもが不審者に声をかけられて民家等に助けを求めて逃げ込んだ時、一時的な保護と警察等への通報をしてくれます。



夏祭り

里塚小唄

作詞 北村 順作
作曲 高橋 ちかし

一、遠く恵庭の 山肌ながめ
緑の畑に 羊や牛が
草を食べてる 啼いている
ヨイトヨイトヨイト
里塚村は アレサ
札幌下に見る ホイ

二、曲がりくねって昇つておりて
行けば小粋な一本松よ
チヨイト休んでみておいて
ヨイトヨイトヨイト
里塚村は アレサ
観光バスが行く ホイ

三、山は紅葉だ稔りの秋だ
見下ろす田の面に稲穂が重い
村は豊年 満作だ
ヨイトヨイトヨイト
里塚村は アレサ
黄金の波ゆれる ホイ

四、あける島田に朝日が光る
開け開け 花嫁ごりよう
明日の希望を 夢にのせ
ヨイトヨイトヨイト
里塚村は アレサ
荒れ地に花が咲く ホイ

里塚東部町内会

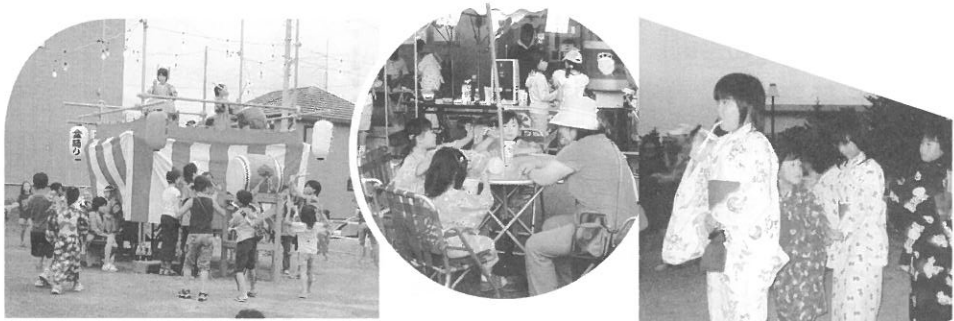
7月29日好天の夕方、里塚記念会館前広場に子どもたちの元気で楽しそうな声があがりました。会場には焼肉のいい匂いがたぐい、パラソル下に集う子どもたちや親子、そして、小さな子にも配慮した遊び、ヨーヨー釣りや輪投げなどに笑顔があふれました。規模は小さいのですが、ハッピー姿のスタッフ全員の心のこもった夏祭りでした。

ライブヒルズ町内会

8月4・5日、平岡ルミネの駐車場で盆踊りが開かれました。今年は初の試みとして、あやめ会の皆さんの指導で子どもたちのラジオ体操終了後に盆踊り講習会を企画しました。ていねいな指導で子どもたちに「踊れる楽しさ」を伝えることができ、お祭り始まって以来たくさんの子も参加してくれました。小さなきかけが大きな輪につながっていく・素敵な試みが形になって行くというのは素晴らしいことです。

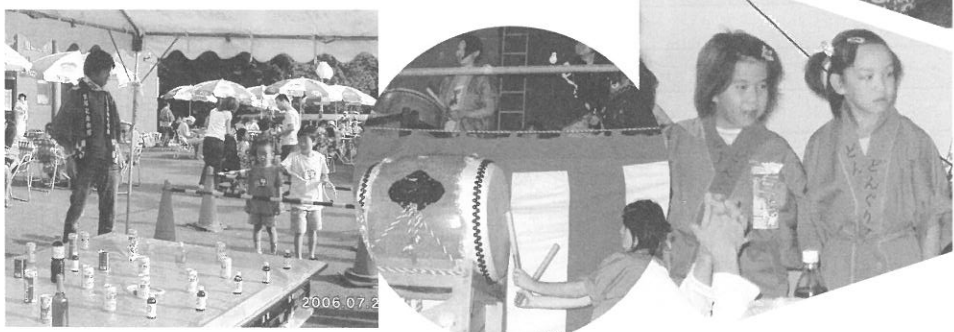
里塚第一町内会
三里塚町内会
光ヶ丘町内会
南美しが丘町内会
美しが丘南公園町内会

8月15・16日、三里塚神社境内で開かれました。夕方早くから町内会



役員とスタッフが準備をし、スピーカーから流れる盆唄に合わせてヤグラ上での見事なバチさばきの太鼓と数人の踊り手から始まりました。浴衣姿の子どもたちも元気いっぱい。心配された空模様

もなんとかもち、時間の経過とともに参加者も多くなりました。後半は、大人の踊り。子どもの可愛さと打って変わり、躍動感あふれる踊りを見る人も一体になって夏を満喫した盆踊りでした。



羊ヶ丘通町内会主催

パシフィック美しが丘
美しが丘式番街自治会
ファミール美しが丘町内会
コナード美しが丘町内会
美しが丘団地自治会

8月5日『ふれあい夏祭り』が今年も賑やかに行われました。この祭りの盆踊りになくてはならないものに『太鼓』があ

ります。18名の子もたちの協力で行われた太鼓は、子ども盆踊りと北海道盆踊りの2曲で80分間叩き続けられました。指導された南部由貴恵さん(羊ヶ丘通町内会)は「皆さんが協力してくれたので苦労はありませんでした。」とこやかに答えてくれました。1学期終業式の午後から10日間連

日の練習で「暑い・疲れた・手が痛い」という小学生から高校生までをやさしくサポートしながらの指導でした。当日は2台の太鼓で打ち手の交代をスムーズにさせた見事な演奏指導でした。このご苦勞なくしてあの子どもの笑顔は見られなかったと思います。

里塚団地自治会

8月19・20日、団地内広場にて子ども盆踊り大会が開かれました。夜にかけて気温は高く、絶好の盆踊り気分。浴衣姿の子どもたちが元気に踊りの輪をつくりまし

た。ハダカ電球の出店には、子どもたちの好む食べ物やゲームなどがあがり、嬉しそうに興じていました。また、焼き鳥コーナーでは、あせにまみれるスタッフの方々の奮闘振りも見られました。子どもたちがうれしそうに、元気に踊る姿は親ならずとも、見ている人たちの気持ちを豊かにさせてくれました。

美里町内会

8月14・15日盆踊りが開かれました。盆踊りの太鼓を勤める子どもを町内会に呼びかけ、7月に「どんぐりクラブ」を結成。専門家の指導を受け本番に臨みます。

太鼓にすっぽり隠れるちびっこも大きな音を響かせ、中高生のバチさばきには思わず見とれてしまいました。

「小さい時、太鼓を叩くお兄さんにあこがれて入会しました。」という子も今は高校生。リーダーとしてしっかりクラブをまとめている姿は実にほほえましいものでした。

残念なことには今年は悪天候のため、ほとんどの地域で2日目の子どもみこしが中止されました。



三里塚神社例大祭
9月9日・10日

【編集後記】

取材のために実際にお祭りの会場に足を運び、会長さんや子どもたちと話をしました。そこには地域に根ざした皆さんの確かなつながりと、子どもたちを通じて次の世代へ引き継がれていくものの素晴らしさを感じることができました。

町内会離れとか、子どもを育てることを思っても声をかけると変な人と思われ、地域のつながりが希薄さが言われていますが取材した地域には無縁のことがも知れません。悲しいニュースが毎日のように流れるこんな時代だからこそ、地域のつながりを考え直すときなのかもしれません。